

インマヌエル中目黒キリスト教会 2014年12月21日聖日礼拝

聖誕聖日を迎えて

「インマヌエルの恵み」

マタイの福音書 1章18節-25節

竿代照夫牧師



聖書朗読

新約聖書

マタイの福音書 1章18節-25節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp1~/第三版の聖書はp1~

- 18 イエス・キリストの誕生は次のようであった。その母マリヤはヨセフの妻と決まっていたが、ふたりがまだいっしょにならないうちに、聖霊によって身重になったことがわかった。
- 19 夫のヨセフは正しい人であって、彼女をさらし者にはしたくなかったので、内密に去らせようと決めた。

- 20 彼がこのことを思い巡らしていたとき、
主の使いが夢に現れて言った。
「ダビデの子ヨセフ。恐れないであなた
の妻マリヤを迎えなさい。その胎に
宿っているものは聖霊によるのです。
- 21 マリヤは男の子を産みます。その名を
イエスとつけなさい。この方こそ、ご
自分の民をその罪から救ってくださる
方です。」
- 22 このすべての出来事は、主が預言者を
通して言われた事が成就するため
であった。

- 23 「見よ、処女がみごもっている。
そして男の子を産む。その名は
インマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、
神は私たちとともにおられる、という
意味である。)
- 24 ヨセフは眠りからさめ、主の使いに命
じられたとおりにして、その妻を迎え
入れ、
- 25 そして、子どもが生まれるまで彼女を
知ることがなく、その子どもの名を
イエスとつけた。

説教

聖誕聖日を迎えて

「インマヌエルの恵み」

マタイの福音書 1章18節-25節

竿代照夫牧師



主テキスト

「見よ、処女がみごもっている。
そして男の子を産む。
その名はインマヌエルと呼ばれる。」
(訳すと、神は私たちとともにおられる、
という意味である。)

(マタイ 1 : 23)

始めに：救い主の三つのお名前

- 職名：キリスト＝「油注がれたもの」
(ヘブル語ではメシヤ)
- 個人名：イエス＝「救うもの」
(ヘブル語ではヨシュア)
- 預言的名称：インマヌエル＝
「神共にいます」

A. インマヌエル——イザヤへの恵み

1. イザヤ時代（BC 8世紀後半）の課題

- 超大国アッシリヤの脅威
- 小国ユダの悩み：「反アッシリヤ同盟」に入るか否か？

2. インマヌエル預言の意義

- イザヤの主張：神のみに頼る中立
- インマヌエルという奇跡的な子供の誕生
(イザヤ7：14)

3. インマヌエルとは誰か

- おとめから生まれる
- 彼はメシヤである
- 彼の存在は励ましとなる

B. インマヌエルーヨセフとヨハネへの恵み

1. ヨセフへの励まし

- ヨセフの悩み：婚約者マリヤの懐妊をどう扱う？
- 解決：「聖霊によって懐妊！」
- 大きな励ましと喜び：その子どもは「インマヌエル」

2. ヨハネの証言（ヨハネ1：14）

- 言葉の受肉
- 恵みとまことの充満

C. インマヌエル——私たちへの恵み

1. 共におられるキリスト

- 主イエスの臨在（マタイ28：20）
- 聖霊の内在（ヨハネ14：16、17）

2. 聖徒たちの証

- ウェスレー臨終の言葉：
“The best of all, God is with us.”
- 蔦田二雄師：独房の中で、
神の臨在を体験

おわりに

神共におられた一年の恵みを感謝しよう